

事業所名	LIGGROW 八千代緑が丘駅前教室				公表日	2025年3月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		
	3	生活空間は、どこにもわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3		今後の利用者による今は必要がない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2		毎日の清掃、感染予防対策の加減器導入と常時換気安全面を考えた玩具の選択 清潔な空間にはなっているが、運動量の必要な子供にとっては運動するスペースや器具がない プレイマットの汚れ・温度差によるマットのズレが多い
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		気持ちに配慮して個室が使えるようにしている それぞれの子供の集中力や、療育内容によっては個室を利用している。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	2	3		PDCAサイクルが成り立っていないためシステムを作る必要がある
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会が設けられており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3		今回が初めての公表となります
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		職員の意見を聞き取り、迅速な対応が出来るように改善していきたい。そのために教室内の環境を良くしたい。 教室長が現場の意見を扱い、改善に努めてくれている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		
適切な支援の提供	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	3		研修の機会があるが費用負担の面で課題がある
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	3		現在作成中 支援計画を元に個々にプログラムを考えているが、充実等の経験と知識が不足している為、支援プログラムについて指導出来る人がいない。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1		モニタリングと支援者会議の実施 それぞれの子供に必要な課題について、あまり話し合いが無い事が課題。それぞれの子供が興味のある事に合わせて受け入れる様に工夫している。
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1		個別支援計画に基づいた記録の記載に変更したことで、個別支援計画を意識した支援計画も行うことが出来るようになってきた。 hugの入力方法を変更した事により、計画に沿った支援を行やすくなった。 充実によるより具体的な説明(計画)に対しての具体的な支援方法が必要だと思う
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	3		アセスメントツールの導入が課題 アセスメントの進捗がフォローアップが無い。 評価ツールの導入が必要だと思う
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		幼稚園保育園や小学校との連携、他事業所との連携力を入れている。 支援計画の内容がもう少し具体的に設定されていても良い。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
関係機関や保護者との連携	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容及び役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	2		職員によって記録方法が異なる
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	1	4		今後行う予定です
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		訪問看護ステーションとの連携を行っている。病院とは文書でやりとりもしている。 保育園や専門職の意見を取り入れながら支援を行っている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3		希望している学校と十分な情報共有が学校側の都合で難しくなっている
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
保護者への説明等	30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	32	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3		
	33	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2	3		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	2		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえ、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		個別支援計画立案の会議には、必ず子どもも同席してもらい、意見を聞いている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		必要時両親に説明を行い、家族と足並みをそろえている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		希望者にはタイムリーに面談を実施
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		今後行う予定です
非常時等の対応	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1		
	41	定期的に通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。		5		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、感染や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	4	1		定期的に情報更新出来る様声かけしている てんかんについては把握しているが、感染や予防接種の情報については把握していないので、改善する様に努める。 発災時は確認を行っているが、職員に対しての周知は少ないと思う。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		現在、教室長・現場で色々と意見交換をしながら改善中。
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		子どもの権利を基に来年実施する安全計画がはっきりと決まっていない。	
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方針について検討しているか。	5				
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	3		今後行う予定です	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5				